

# 幸子の 議員活動 日誌

diary

2017年11月～2018年5月

## 東奔西走

皆さんからも市政への  
ご意見をください



●市民ネットにいがた 12/20  
「新年度予算編成等に関する要望書」を提出

2018年度予算編成は大変厳しい財政状況で各種事業の見直しを進めていますが、市民の命や暮らしに直結するものは極力影響の出ないよう十分に配慮を行うこと、東日本大震災を踏まえた防災等の取り組み・柏崎刈羽原発再稼働反対などを要望しました。



●7年目の福島「福島原発震災」4/18  
情報連絡センター」総会&研修&スタディツアー

「避難者支援の現状と課題」、「新潟県の検証作業」「福島原発事故と刑事裁判」報告、翌日は富岡町の視察でした。常磐線は新しい富岡駅まで開通したものの、空間線量は0.07μSv/hで帰還は進んでいません。避難者の苦悩を聞き、継続的な支援が必要と考えます。



●新潟市議会 11/26  
「市民ネットにいがた」市政報告会を開催

西区上新栄町集会所で市政報告会を開催しました。青木学議員（中央区）、竹内功議員（西蒲区）、そして私の3人が活動報告をし、全区からお集まりの約40人の方々と意見交換をしました。皆さんからいただいた意見を今後に生かしていきます。



●人工呼吸器をつけて地域で 12/10  
生きる 映写会「風よ吹け!未来はここに!」

「バクバクの会～人工呼吸器と共に生きる」主催の映写会の後に、当事者の方やご家族の方々のお話がありました。人工呼吸器をつけているなど医療的ケアの必要な子どもたちが、お友達と一緒に地域の学校に通えるよう現在取り組んでいます。



●聴覚障がい者の議員が在籍する 1/26  
東京都北区役所、埼玉県戸田市議会を視察

北区や戸田市では、聴覚障がいのある議員の情報保障として手話通訳、「音声認識システム」が活用され、同時に聴覚障がいを持つ市民にも合理的配慮が進んでいます。今後の新潟市での「手話言語条例」の制定に大変参考になりました。



●自殺対策支援センター 2/22  
ライフリンクの清水康之さん講演会開催

自殺者数が減少していく中で、若年層の自殺者数は減ることはなく、若年層の死因の1位は自殺です。新潟ではここ3年余りに10人近くの子どもの命が自ら命を絶っています。行政や他機関と連携した「思春期の子ども自殺を防ぐ」ための取り組みを学びました。



●憲法記念日「ピース・フェス 5/3  
ティバル in にいがた 輝け!憲法9条」

今年日本国憲法の施行から71年。この日、県からたくさんの方が集い、平和の大切さについて語り合いました。新潟市は2005年に「新潟市非核平和都市」を宣言していますが、憲法を守り、世界平和を護った宣言をさらに深化させていきます。



●新潟県日韓親善協会 5/31  
2018年度 定期総会と総領事の講演会

女性初の駐新潟韓国総領事として着任した鄭美愛（ジョンミエ）さんは、筑波大学で学ばれた方で両国間の交流と協力の必要性を語りました。日韓親善新潟市議会議員連盟で参加しましたが、地方や民間レベルで交流を深めていきます。

新潟市議会議員

# いしづき幸子 議会活動レポート

6

## 新潟市議会 市民ネットにいがた 市政報告

市民ネットにいがた 951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1（新潟市役所内）  
TEL.025-228-1000



## 議員4年目を迎えました。 しっかりと仕事を していきます。

議員4年目を迎えました。大学で言えば最終学年、しっかりと仕事をしていきます。いつも皆さまからあたたかな励ましを頂いていますが、1年1年と経験を積むごとに、議員になって良かったと実感しています。特に次の3点において、いつも皆さまに感謝しています。

### 目次 contents

- ご挨拶 ..... 1P
- 2018年  
議会報告定例会 ..... 2・3P
- 高齢者総合生活支援施設  
「あい・いからしの郷」 ..... 3P
- 幸子の議員活動日誌 ..... 4P

### ～幸子事務所は地域の居場所～ いつもでお立ち寄りください

議会や視察のない水曜日の午前または午後「幸子市政なんでも相談」をおこなっています。また、月・水・木の午後はスタッフがいますのでいつでもお立ち寄りください。旧「喫茶けやき」の奥です。



1. もともと私自身が女性や子どもの権利擁護の市民活動をしてきましたので、新潟市の児童虐待防止や子育て支援、男女共同参画社会の推進等はやりがいのあるものです。
2. 上新栄町に事務所を持っていることで、地域の様々な動きを肌で感じる事ができます。多くの方から市政に関するご相談を受けたり、町内での困りごとなどを一緒に考えることができます。また、事務所の奥に高齢者総合生活支援施設「あい・いからしの郷」が建設されたことで、高齢者福祉について共に学ぶことができます。
3. 新潟市は非核平和都市宣言をしていますが、反原発と憲法9条の旗を掲げて活動ができています。柏崎刈羽原発から約60キロの西区ではその思いを強く持つ方は多く、共に活動を進めています。また、現在「いしづき幸子と3000万人署名を進める会」を立ち上げて憲法9条を守る署名活動を進めています。これもまた皆さまと共に取り組める喜びを感じています。

これからも皆さまと共に「一人ひとりが大切にされる社会」を目指していきます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

無料  
法律 / 税理  
生活相談

市政に関するさまざまな相談にのっています。  
お気軽にご相談ください。

- 市議会会派室（市民ネットにいがた）  
TEL025-228-1000  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町 602-1
- 事務所 〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-83  
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423  
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp
- 自宅 〒950-2076 新潟市西区上新栄町 4-5-82  
TEL 090-5318-5607



一般質問通告

1. 子どもの貧困対策について
2. 学校における女性管理職の登用について
3. 図書館運営と学校司書について



Sachiko's eye 幸子の目



- 2018年度予算は大変厳しい財政状況を踏まえたものでした。私たちが暮らしていく中で大事にしていた部分が削られています。暮らし、教育、福祉を中心にしたまちづくりに変えていきたいと強く思っています。
- ちょっと嬉しいニュース！ 難聴児に補聴器だけでなく補聴システム購入費が助成され、LGBT相談窓口が新設されました。

1 子どもの貧困対策について

本市では子どもの貧困対策推進計画として「新潟市子どもの未来応援プラン」が策定されます。「だれもが生まれた環境によって将来を左右されず、子どもの社会的自立と貧困の連鎖解消を図る」という精神が確実に実行されることを願い質問します。学習支援事業の拡充、福祉と教育の連携、未成年後見支援事業も含め児童養護施設等退所後の子どもの自立支援、子ども食堂の支援策の充実を求めます。

- 子どもの学習支援事業の取り組みの拡大について
- 教育と福祉の連携、学校の果たす役割は何か
- スクールソーシャルワーカーの今後の増員について
- 児童養護施設等の退所後の子どもたち把握と自立支援について
- 国の「未成年後見人支援事業」を本市でも活用すること
- 子ども食堂の継続は開催のための支援策について

● 市長答弁

本市では生活保護世帯や生活困窮世帯の主に中学生に、4区5ヵ所で学習の機会や居場所を提供していますが、2018年度は新たに江南区にも会場を設け、一人親の子どもも含め参加者の拡大を図ります。同時に学校を子どもの貧困対策のプラットフォームと位置付け、スクールソーシャルワーカーの配置の拡充を検討しつつ総合的な対策を推進していきます。また、児童養護施設を退所した児童のニーズに即したアフターケアを研究し、「未成年後見人支援事業」は実施に向け取り組みます。子ども食堂については衛生管理に関する研修会を開催するなど、それぞれが柔軟な運営を維持しながら継続できるよう努めています。



他県で取り組む「子育て支援・子どもの貧困対策」を学び、その学びを新潟市に反映していきたいと議会ですっきりと質問しました。

2 学校における女性管理職の登用について

私はこの項目を2つの視点から重要と考えます。1つは男女平等、女性活躍推進の視点、2つは女性の登用は多忙化の解消、ワーク・ライフ・バランスの確立など働き方の見直しにつながるという視点です。しかし、現実には、校長・教頭の女性比率は約15%、教務主任は5.2%と極端に低くなっています。教頭試験の受験要件の見直しや女性教員への啓発、男女平等・女性活躍推進の視点を踏まえた取り組み、働き方の見直しなど、女性の管理職登用の推進を求めます。

- 女性管理職の登用を進めることの効果と影響について
- 女性管理職比率が上がらない理由
- 女性管理職の登用を進めるために学校現場のワーク・ライフ・バランスをどのように進めていくか
- 本市教育委員会における女性活躍推進法に基づく行動計画の策定状況について

● 教育長答弁

女性管理職の登用を進めることは、学校の課題に幅広い視点から対応を考え、解決を図ることが可能になります。また女性管理職の活躍は管理職を目指す女性の増加につながるとともに、児童生徒に男女平等の働き方を示し、保護者、地域の方々に男女共同参画の意識啓発につながると考えます。実際には教頭の長時間勤務の常態化や業務集中から自分には務まらないと考える女性がいることも確かです。女性活躍推進法に基づく行動計画を早期に策定するとともに、職場のワーク・ライフ・バランスの確立を進めます。

3 図書館運営と学校司書について

来年度の予算編成に当たり、図書館においても大幅な予算削減、組織縮小が示されました。特に問題だと思う点は、①図書館の命である「資料購入費」予算が1700万円削除、②組織改編。今まで中央図書館にあった企画管理課とサービス課が廃止され、中央図書館長が部次長級から課長に格下げ、です。図書館は市民の大事な財産です。今まで築き上げてきた政令市にいがたにふさわしい本市の図書館運営が、予算削減、組織縮小により影響が出ることがないよう願って以下のことを質問します。

- 合併後の本市の図書館の業績とその評価について
- 特別支援学校、明鏡高校へ学校司書配置の評価について
- ブックスタートの現状と継続による効果について
- 予算削減、組織改編に伴う課題について

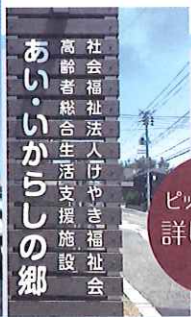
● 教育長答弁

合併後、19の図書館網の整備を行い、順次オンライン化を進め、今ではどこの図書館でも借りたり返したりできるようになりました。インターネット予約やさまざまなサービスの充実も回り市民の読書環境の整備は大きく前進しています。特別支援学校、明鏡高校への学校司書の配置は、学習支援、子どもたちの心の居場所として有効に機能しています。ブックスタートは、多くのボランティアに支えられ家庭から保育園、幼稚園、学校における読書活動につながる重要な事業で今後も継続していきます。予算は削減されますが、図書館は市民の生涯学習を支える重要な社会教育施設です。これからも市民サービスの低下や各種計画の停滞を招かないよう努めています。

地域と共に

住み慣れた地域で、共に生きる  
もう一つの「我が家」

6月1日、私の事務所の隣に高齢者総合生活支援施設「あい・いからしの郷」がオープンしました。これからも応援し続けます！



ピックアップ！  
詳しく紹介



● 今までの取り組み  
2016年春頃から旧「喫茶けやき」のオーナー会田きよみさんを中心に地域の人たちが集い「地域の総合福祉」の夢を語り合いました。住み慣れた地域で「人としての尊厳や権利が尊重され、自分の家のような空気が感じられる居場所」を作りたいと、2017年1月に法人設立申請、7月に法人認可、9月に地鎮祭を終え工事着工、そして、6月にオープンしました。

● 施設の特徴  
1階には小規模多機能型居宅介護事業（登録29人）「はなみずき」とカフェコーナー、2階には特養2ユニット「もり」「うみ」、3階には特養1ユニット「そら」と地域交流ホール（定員100人）があります。特養と小規模多機能居宅介護を併設するメリットは、「住み慣れた地域」で「暮らす人」「通う人」「支える人」「集う人」との馴染みの関係が保たれ、もう一つの我が家として「近くにあってよかった」と思える環境が築かれることです。地域包括ケアシステムを推進していくための「地域福祉拠点」を担っていきます。

～理事長 会田きよみさんの思い～

単なる高齢者の介護施設ではなく、地域に開かれた施設、障がい者、子どもも共に集い利用する共生型の福祉施設を目指しています。「ここにあって良かった」と地域の皆さまに言っていただけますよう、スタッフ一同努力しております。

